

中学校国語B (主として「活用」に関する問題)

平成28年度
全国学力・学習状況調査

問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力について調べる問題です。必要な情報を読み取ること、文章の構成や要旨を捉えること、根拠を明確にして自分の考えを書くことなどが出題されています。

全体の正答率

* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して
1.3%上回っています

《平均正答率(%)》

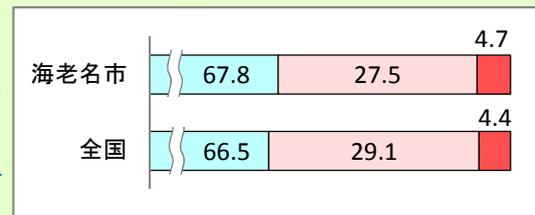
	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語B	67.8	67.0	66.5	+1.3



誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

■ 正答 ■ 誤答(書いたが不正解だった)
■ 無解答(何も書かなかった)



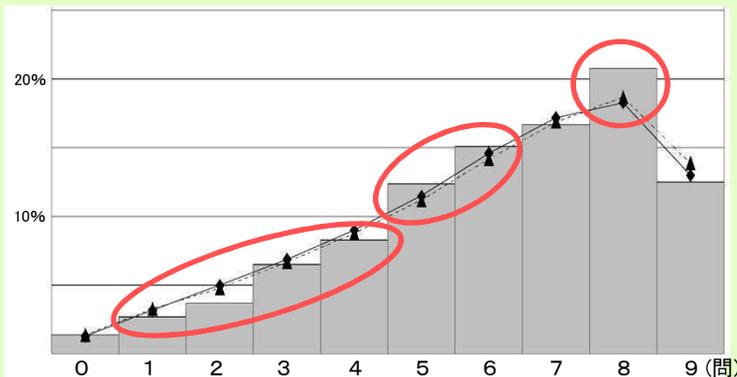
無解答率(何も書かなかった)は4.7%でした。



分布の様子は…

《正答数による分布》

■ 海老名市 ▲ 神奈川県 ◆ 全国



全国と比較すると
正答数が5~6問、8問の生徒が多く
1~4問の生徒が少ない
ことがわかります

* 正答率50%以下(0~4問)の生徒の割合は22.6%でした。(全国は25.3%)

* 正答率80%以上(8~9問)の生徒の割合は33.2%でした。(全国は31.2%)

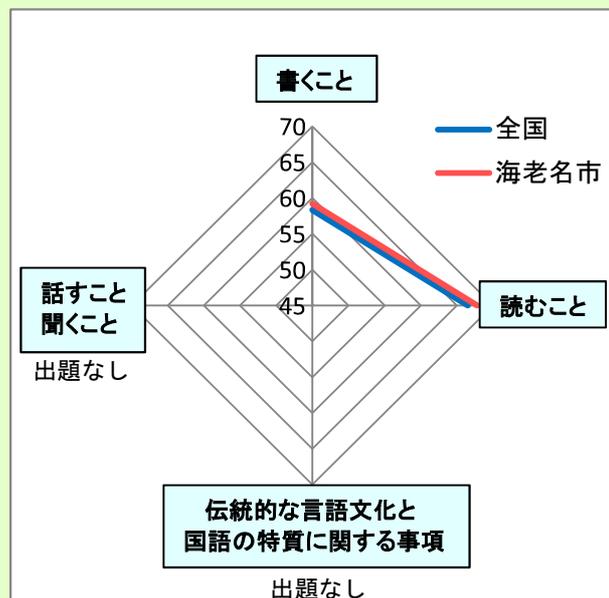
領域別の正答率

「書くこと」「読むこと」が
全国をやや上回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	この領域は今年度出題なし		
書くこと	59.2	58.3	+0.9
読むこと	67.8	66.5	+1.3
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	この領域は今年度出題なし		

* 「書くこと」については、0.9%上回っていました。

* 「読むこと」については、1.3%上回っていました。



内容について

* ()内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った設問	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語に出てくる道具(ランプ)について、図鑑の説明からわかることを選ぶ。(+3.5) ○ 雑誌の記事を読み、その構成として正しいものを選ぶ。(+3.3) ○ 説明資料からわかることを条件にあわせて書く。(+1.8)
------------------	--

全国を下回った設問	<p>なし (すべての設問において全国を上回りました)</p>
------------------	-------------------------------------

国語Bで平均正答率の全国との差が小さかった設問の例

「ちらし」から展示会が開かれるねらいを選ぶ設問 (全国との比較+0.1)

【博物館のちらし(表)】と【博物館のちらし(裏)】から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 漆、和紙、織物などの日本の伝統文化は特別なものではなく、現在の生活とつながりがあると知ってもらうこと。
- 2 日本の伝統文化の代表である漆、和紙、織物を同時に展示し、それぞれの特徴を比較してもらうこと。
- 3 国内の各地で漆、和紙、織物の順で生まれ、発展してきた日本の伝統文化の歴史的な背景を理解してもらうこと。
- 4 世界の優れた職人の手によって作り出された漆、和紙、織物などの高級品の数々を鑑賞してもらうこと。

正答 1

【博物館のちらし(表)】

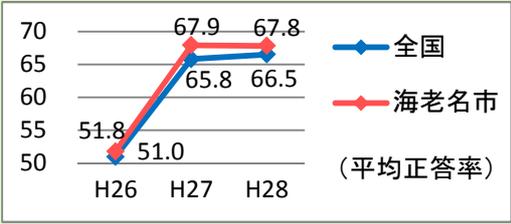
【博物館のちらし(裏)】

☆国語Bのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

考 察

- ◆ 全国と比べて、正答数が5～6問、8問の生徒が多く、1～4問の生徒が少ないことから、基礎的な知識を活用する力はおおむね身につけている。
- ◆ 「読むこと」の領域については、全国と比べて平均正答率が高く、目的に応じて必要な情報を読み取る力について指導の成果が見られる。
- ◆ 「書くこと」の領域については、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに課題が見られる。

これまでとの比較



- ◆ 3年間とも全国を上回っているが、平成27年度は差が大きくなり、平成28年度は差が小さくなっている。
- ◆ 平成26年度から3年間、全領域において全国を上回っている。

指導の改善にむけて

- ◆ 「根拠を明確にして自分の考えを書く力を高める」ために
 - 書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりする学習活動をとおして、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことができるように指導する。
- ◆ 「課題に応じて情報を収集する力を高める」ために
 - 学校図書館を活用する機会を増やす。